

カンタンPDCA循環

5Sとホウレンソウの習慣活性化

5 S - H R S 経営戦略基本組織 P D C A 構築法

5 S 習慣化 整理・整頓・清掃・しつけ・成長

H R S 習慣化 報告・連絡・相談（提案）

ミス・ロス・ムダをなくす基本は、チーム活動の標準化である

● 週間報告とチームコミュニケーションの P D C A で組織は進化成長する

人材能力200%UPに挑む

1 P D C A 習慣化

経営計画を立てたけれど

絵に描いた餅で、実行に移せない
結局、何の成果も出ていない



原因のほとんどは

具体的な活動方針が決められていない
個々のやるべきことが明確に数値化されていない
週単位・月単位でチェックされていない
結局、組織が機能していない



組織とは、計画、行動、管理がスピーディに回転すること
P D C A の循環がスパイラルに進化するシステムが機能すること

組織と人材が成長する仕組みづくりは
計画目標に向かって行動する

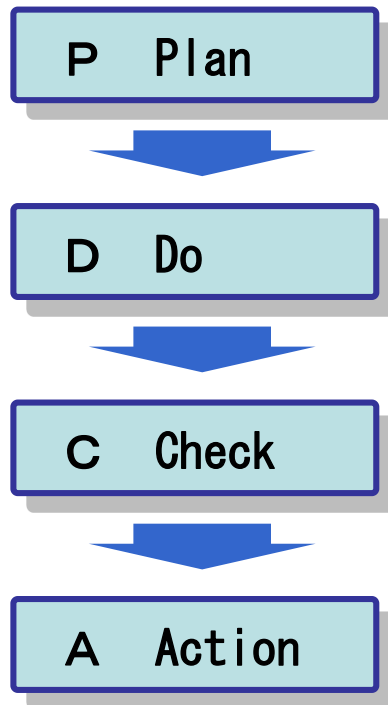
P D C A 習慣が基本

2 PDCAとは

マネジメントサイクルのひとつで、スパイラルプロセスによって、品質の維持・向上・継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法です。デミングサイクルとも呼ばれ、品質管理ISO9000シリーズや環境ISO14000シリーズにも使われる改善プロセス進化手法。

P	Plan	計画	目標を設定する解決策、改善計画
D	Do	実行	計画を実行に移し、検査する
C	Check	評価	検査結果を分析評価する
A	Action	改善	評価による改善行動に移す

5Sとホウレンソウで人材能力を高めるPDCA



5Sの励行を習慣化することで、業務効率をアップする
ホウレンソウを徹底してミスマッチのない業務環境を創出する
ミス・ロス・ムダの低減で、業務効率200%の数値目標をクリアする

5Sの定義と励行の評価基準を作り、日々全社員が励行する
ホウレンソウの定義と評価基準を作り、日々全社員が実施する
日々全社員は習慣報告書に5Sを自己評価し、ホウレンソウを記録する

グループミーティングを週1回開き、評価報告について検証する
グループ長は週1回、現場を検査して各人の上司評価をする
グループ長は週1回個人面談して報告を聴き、改善への提案をする

全社員は検証に基づいた改善行動を週単位で繰り返し向上を図る
グループ長は報告書を経営企画室に渡し、企画室はデータベースに記録する
四半期ごとにデータを集計して表彰し、人事考課の対象とする

5Sの励行・習慣化

1S ▶ 整理

●資料は捨てるかファイリングするかの二者択一
資料がデスクに上積みされていないか
不要なモノがデスク周りに放置されていないか
いらぬモノを速やかに処分できたか

2S ▶ 整頓

●所定の場所に整然と収められているか
ファイリング資料は、必要なものが速やかに取り出せるか
備品や道具類は所定の場所に収納されているか
パソコンデータのファイル管理はできているか

3S ▶ 清掃

●身の回り、職場はきれいになっているか
デスク周りの拭き掃除・掃き掃除はしたか
職場の清掃を行ったか、ゴミは落ちていないか
ゴミは決められた場所に捨てたか

4S ▶ しつけ

●身だしなみと、元気な掛け声を心掛けているか
清潔と健康に配慮した服装、身だしなみができているか
元気な笑顔で「おはようございます」と「お先に失礼します」
感謝の掛け声「ありがとうございます」と「どういたしまして」

5S ▶ 成長

●昨日の自分より今日の自分は成長しているか
新しい情報を得た。新たな技術を習得した
本を読んで賢くなった。朝起きて新聞を読む時間があった
新しいことを体験した。工夫する時間が持てた

※一般的な5Sは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけ

ホウレンソウ

報告

連絡

相談

●与えられた業務の進捗状況を記録する

正確かつ簡潔に書く文章力を養う
 毎日終業前に10分で報告書を仕上げる
 毎週1回、上司面談で10分間報告する

●必要性を判断したら速やかに連絡する

結果を先に話し、5W2Hで的確に状況を連絡する
 「言った」、「言わない」のトラブルを文書で解消
 ミスの上塗り厳禁、事後連絡の禁止

●アドバイスを求めたいときは上司に申し出る

解決したい問題の情報を事前に整理しておく
 必ず解決策の私案を提示してから意見を求める
 何も考えず「どうしましょう？」の禁止



二度訊きロスの防止 5W2Hとは

部下が上司に連絡・相談するときの案件整理に使われる手法だが、上司から部下への業務伝達手段としても有効である。客先での漏れのない打ち合せのチェック項目として慎重を期したい。

Who	だれが	人・組織・体制
When	いつ	日時・期間・納期・サイト
What	なにを	モノ・問題点・課題
Where	どこで	対象範囲を明確に
Why	なぜ	効果・目的
How	どのように	方法・手段・戦術
How much	いくらで	ビジネスはカネが重要